



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場会社名 小池酸素工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6137 URL <http://www.koikeox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 横田 修

TEL 03-3624-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,243	10.7	762	△20.7	752	△4.3	352	5.6
23年3月期第3四半期	26,417	△7.6	961	7.7	786	△19.0	333	△40.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 339百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.41	—
23年3月期第3四半期	7.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	49,499	22,351	42.4
23年3月期	48,485	22,321	43.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 20,985百万円 23年3月期 21,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.00	7.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年3月期期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭
24年3月期(予想)期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	9.5	1,200	△11.0	1,300	6.6	1,500	13.3	35.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	45,229,332 株	23年3月期	45,229,332 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	3,351,583 株	23年3月期	3,348,358 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	41,880,144 株	23年3月期3Q	41,885,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係	9
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ生産活動が早期に回復するなど着実な持ち直しの動きがあったものの、雇用情勢の低迷、電力不足、原子力災害の影響に加え、欧州債務問題の深刻化などにより依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループの主需要先である鉄鋼、造船、産業機械、建設機械などの各業界においては、中国を中心としたアジア経済の成長に支えられ堅調な動きも見られたものの、世界経済の減速や急速な円高の影響を受けて足踏み状態となりました。

このような状況のもと、当社グループは円高による競争力の低下や収益圧迫もありましたが、販売活動の強化および海外市場への積極展開、新技術・新製品の開発、生産効率の向上、経費削減に積極的に取り組みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は292億43百万円（前年同期比10.7%増）、経常利益は7億52百万円（同4.3%減）、四半期純利益は3億52百万円（同5.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、作業や作業環境に優しく、生産性の向上を図ることができる切断機械システムの開発と販売に取り組みました。特に、高圧水で切断するウォータージェット切断機「KOIKEJET」は粉塵・火花・閃光が無く、騒音も少ないことが評価され、2台受注するとともに、スタッカーを利用した自動搬出・搬入システム、歩留まり管理、集塵装置など多岐にわたる総合生産管理システム「トランスフォーマー・プロダクションシステム」を受注しました。

また、新製品群を一堂に展示したFAセンターを9月にKOIKEテクノセンター（千葉県千葉市）内に竣工させ、10月には秋季プライベート・フェアを開催し、多くの引合い、受注を得ることができました。さらに、省電力・メンテナンスフリーなどの観点から次世代のレーザー切断機として「ファイバーレーザー切断機」の開発に取り組み、25mmの厚鋼板の安定切断を成功させるとともに、ハウジングタイプの小型切断機「FIBERTEC」の展示、実演を行いました。また、簡易型NC搭載切断機「PNC-10」は、好調な販売が続きました。

海外においては、新規開発した世界標準のグローバル切断機「VENTEC」「GAMMATEC」の2機種の生産・販売活動を欧州にて本格化させ、多くの引合いを獲得しました。また、6月の北京エッセンショーへの出展に続き、7月にインドで開催されたウェルドインドシアへ初出展するとともに、コイケカuttingアンドウェルディング（インド）(株)を設立し、インドでの新規販売網構築を始め本格的な営業展開を行う体制を整えました。

生産面においては、土気工場（千葉県千葉市）への工場生産ラインの移転を完了させ、短納期化など生産の効率化を図るとともに、海外グループ会社との協業によるグローバル切断機や国際共通コントローラの開発、部品の共通化を実現して生産性の向上とコストダウンに努めました。

その結果、売上高は118億40百万円（前年同期比16.7%増）、セグメント利益は5億26百万円（同16.0%増）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、需要の回復に伴いガス販売量が増加傾向にある中、ガス営業強化事業所のガス選任者による新規販売活動に力を入れ、関西地区において新たに液体ヘリウムの販売を開始するとともに、茨城ガスセンター(株)において炭酸ガス充填設備の増設を行い充填ガスの増販を進めました。また、ガスアプリケーション販売の取組として、「酸素昇圧ユニット」の受注活動強化、PSA(省電力省スペース窒素ガス発生装置)販売体制の構築を行い、提案営業を実施しました。生産面では、ガス工場のコスト削減策継続と安定供給に注力しました。

医療分野においては、レンタル製品の強化と、院内機器の主力製品「ヨックスディスポ」（ディスポーザブル吸引器）や「パラメド」（高気圧酸素治療装置）の販売に注力し、販売は好調に推移しました。さらに11月のHOSPEX Japan 2011（医療福祉設備展）に「LED无影灯」などを展示し販売につなげました。

その結果、売上高は113億60百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は7億99百万円（同17.1%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、溶接材料メーカー各社の価格改定に伴い、値上前需要に対応しましたが、東日本大震災の影響により自動車、建設機械、建築鉄骨産業が低迷し、販売量が減少しました。

溶接機器においては、各地域にて展示会を開催し溶接機を中心とした引合い、受注を得ることができました。また、5月から9月まで逆火防止器を主体としたアポロUL認証取得記念セールを実施し、認証取得商品の品揃えを前面に掲げ逆火防止器、溶断溶接ホースセット、ワンタッチ継手などの販売につなげることができました。さらに、新製商品や円高を生かした新輸入商品の増販を目的としたアタックキャンペーン2011を11月より実施するとともに、実演車にて全国のユーザーを訪問し、乾式安全器の普及を目的とした逆火実験を行い成果を上げることができました。

その結果、売上高は50億71百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は1億5百万円（同12.0%減）となりました。

その他

ガス機器においては、中国を中心に既存の代理店に加えて新規代理店を開拓し、新規開発の普及型排ガス処理装置「OCSE RD」の販売活動を積極的に実施しましたが、世界的に設備投資計画が低調な中、受注増にはつながりませんでした。また、ヘリウム液化装置を大学研究機関に1台納入するとともに、感染性医療廃棄物処理システム「DOMIWS」を医療施設に1台納入しました。

その結果、売上高は9億70百万円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益は59百万円（同66.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産)**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は494億99百万円であり、前連結会計年度末に比べ10億14百万円増加しました。

流動資産合計は291億72百万円で、前連結会計年度末に比べ13億51百万円増加しました。これは主に受注増加に伴う仕掛品などの棚卸資産の増加15億33百万円によるものです。

固定資産合計は203億27百万円で、前連結会計年度末に比べ3億37百万円減少しました。これは主に所有株式の時価の下落によるものです。

(負債)

流動負債合計は218億40百万円で、前連結会計年度末に比べ19億1百万円増加しました。これは主に受注増加に伴う仕入高の増加による支払手形及び買掛金の増加と、前受金の増加によるものです。

固定負債合計は53億7百万円で、前連結会計年度末に比べ9億17百万円減少しました。これは主に長期借入金の返済、法人税率等の変更に伴う繰延税金負債の減少によるものです。

(純資産)

純資産合計は223億51百万円で、前連結会計年度末に比べ30百万円増加しました。これは主に四半期純利益の計上と、配当金の支払によるものです。

この結果、自己資本比率は42.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。詳細につきましては、「平成23年3月期決算短信」3ページ 1.経営成績 (1) 経営成績に関する分析②次期(平成24年3月期)の見通し を参照してください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,371	6,311
受取手形及び売掛金	13,098	12,917
有価証券	74	74
商品及び製品	3,909	4,302
仕掛品	1,794	2,618
原材料及び貯蔵品	1,498	1,814
その他	1,341	1,345
貸倒引当金	△267	△212
流動資産合計	27,820	29,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,028	4,384
機械装置及び運搬具（純額）	1,596	1,388
工具、器具及び備品（純額）	528	524
土地	9,448	9,386
リース資産（純額）	730	696
建設仮勘定	393	229
有形固定資産合計	16,724	16,609
無形固定資産		
のれん	212	133
リース資産	12	21
その他	405	422
無形固定資産合計	630	578
投資その他の資産	3,309	3,139
固定資産合計	20,664	20,327
資産合計	48,485	49,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,313	11,033
短期借入金	3,711	4,496
1年内返済予定の長期借入金	969	738
1年内償還予定の社債	600	310
未払法人税等	433	87
賞与引当金	358	264
役員賞与引当金	55	34
受注損失引当金	23	12
製品保証引当金	9	11
その他	4,464	4,851
流動負債合計	19,938	21,840
固定負債		
社債	270	280
長期借入金	873	516
退職給付引当金	299	300
役員退職慰労引当金	182	198
資産除去債務	9	9
その他	4,590	4,003
固定負債合計	6,225	5,307
負債合計	26,164	27,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,683	16,712
自己株式	△819	△819
株主資本合計	22,249	22,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	192
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	△160	46
為替換算調整勘定	△1,393	△1,531
その他の包括利益累計額合計	△1,228	△1,292
少数株主持分	1,300	1,366
純資産合計	22,321	22,351
負債純資産合計	48,485	49,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	26,417	29,243
売上原価	18,972	21,756
売上総利益	7,445	7,487
販売費及び一般管理費	6,484	6,724
営業利益	961	762
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	54	53
受取賃貸料	65	65
物品売却益	22	26
貸倒引当金戻入額	—	39
その他	54	59
営業外収益合計	209	256
営業外費用		
支払利息	90	77
賃貸費用	52	55
為替差損	206	92
その他	35	41
営業外費用合計	384	266
経常利益	786	752
特別利益		
固定資産売却益	24	7
投資有価証券売却益	6	—
貸倒引当金戻入額	9	—
退職給付制度改定益	24	—
収用補償金	—	85
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	169	—
その他	4	—
特別利益合計	239	92
特別損失		
固定資産除売却損	8	28
減損損失	8	59
投資有価証券評価損	—	13
ゴルフ会員権評価損	43	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
工場移転費用	—	96
災害による損失	—	7
その他	0	0
特別損失合計	63	206
税金等調整前四半期純利益	962	638
法人税、住民税及び事業税	265	245
法人税等調整額	268	△83
法人税等合計	534	162
少数株主損益調整前四半期純利益	427	476
少数株主利益	93	124
四半期純利益	333	352

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	427	476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	△132
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	—	176
為替換算調整勘定	△349	△180
その他の包括利益合計	△515	△137
四半期包括利益	△88	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146	258
少数株主に係る四半期包括利益	58	80

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	10,144	10,699	4,780	25,625	792	26,417	—	26,417
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,144	10,699	4,780	25,625	792	26,417	—	26,417
セグメント利益	454	683	120	1,257	176	1,433	△472	961

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△472百万円には、セグメント間取引消去104百万円、のれんの償却額△106百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△666百万円、たな卸資産の調整額189百万円、その他の調整額6百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,840	11,360	5,071	28,272	970	29,243	—	29,243
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,840	11,360	5,071	28,272	970	29,243	—	29,243
セグメント利益	526	799	105	1,432	59	1,491	△728	762

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、加熱プラズマ機器、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△728百万円には、セグメント間取引消去92百万円、のれんの償却額△117百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△690百万円、たな卸資産の調整額△22百万円、その他の調整額9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費	888百万円	965百万円
のれんの償却額	106	117

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	13,280	143.3
高压ガス (百万円)	281	101.0
報告セグメント計 (百万円)	13,562	142.1
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	13,562	142.1

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	11,400	192.1	6,121	213.9

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	11,840	116.7
高压ガス (百万円)	11,360	106.2
溶接機材 (百万円)	5,071	106.1
報告セグメント計 (百万円)	28,272	110.3
その他 (百万円)	970	122.5
合計 (百万円)	29,243	110.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。